

レナスター[®]水和剤

■種類名：ジメテナミドP・レナシル水和剤	
■有効成分：ジメテナミドP	15.4%
レナシル	19.2%
■化管法指定物質：ジメテナミドP [第1種]	15.4%

■登録番号：第24499号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2021.02.24
■性状：類白色～淡褐色水和性粉末 75μm以下
■有効年限：3年
■包装：1.2kg×10袋、6kg×1箱

【特長】

- 2つの土壌処理剤配合で雑草の発生を長く抑えます。
- 幅広い草種の一年生雑草にすぐれた効果を示し、タデ、ツクサ、スズメノカタビラにも有効です。

【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジメテナミド [®] 及びジメテナミド [®] Pを含む農薬の総使用回数	けしをを含む農薬の総使用回数
			葉量	希釈水量				
てんさい (移植栽培)	一年生雑草	定植後 又は 中耕後(雑草発生前 ～発生始期) 但し、 収穫60日前まで	300～ 500g /10a	80～ 100ℓ /10a	2回以内	雑草茎葉 散布 又は 全面散布	2回以内	2回以内
てんさい (直播栽培)		てんさい6葉期以降 又は 中耕後(雑草発生前 ～発生始期) 但し、収穫60日前まで						

【効果・薬害等の注意】

- 展着剤(非イオン系)を加用すること。
- 薬液は十分かきまぜ、また時々攪拌しながら散布すること。
- 砂地で水はけのよい畑では使用をさけること。
- 本剤の散布適期は雑草の発生前～発生始期であり、生育の進んだ雑草には効果が劣るので、使用時期を失ないように散布すること。
- 高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- 散布に当たっては、他作物に飛散しないよう十分注意すること。
- 散布むらのないよう均一に散布すること。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布すること。
- 土壌が極端に乾燥している場合には、除草効果が劣ることがあるので、土壌が適度の水分を含んでいるときに使用すること。
- 本剤は残効性が長く、後作物に対して影響を及ぼすことがあるので注意すること。特に、いね科、まめ科、うり科、なす科及びあぶらな科作物等では影響が認められているので、本剤処理後6ヶ月以内にこれらを後作物として栽培しないこと。
- 使用后、容器や散布器具は必ず十分水で洗うこと。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲、誤食などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。